

東北大学 TOHOKU UNIVERSITY

〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平二丁目1-1
URL: https://www.tohoku.ac.jp/



スーパーグローバル大学創成支援
東北大学グローバルイニシアティブ構想



東北大学

東北大学

TOHOKU UNIVERSITY

TOHOKU UNIVERSITY

世界に通じる教育・研究力を有し 創造と変革を先導する大学へ

国際競争力の
さらなる向上を目指して

建学の理念として「研究第一」「実学尊重」とともに「門戸開放」を掲げる東北大学。日本国内で初めて留学生に学位を授与するなど、世界に開かれた大学として常に国際化の先陣を切ってきた。国立大学で唯一、文部科学省による国際化推進を目的とした「グローバル30」「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援(GGJ)」「スーパーグローバル大学創成支援(SGU)」に連続して採択された大学でもある。SGUでは「東北大学グローバルイニシアティブ構想」を打ち出し、研究力・教育力の強化をはじめ、大学としての国際競争力を高めるための総合的な取り組みを実施している。グローバル時代を牽引する卓越した教育・研究を行う大学へと飛躍し、世界から尊敬される「世界三十傑大学」の一員になることが中長期的な目標だ。その先に、社会変革・イノベーションを先導する大学として、新しい時代の大学像を提示しようとしている。

教育基盤を固めて
グローバルリーダーを育成

東北大学グローバルイニシアティブ構想の基盤となるのは、グローバル30採択時から進めている「Future Global Leadership Program(FGL)」だ。現在は学部で3コース、大学院で48コースが展開されており、英語で授業を受けて学位が取得できる。2013年度の在籍者は200名程度だったが、2019年度には約600名にまで達した。学部でも国際通用性の高い教育プログラムを構築しており、卒業生の多くが東北大学、あるいはオックスフォード大学やケンブリッジ大学といった世界トップレベルの大学院へと進学している。学部コースでのさらなる拡大が今後の課題だ。

続いて核となる取り組みが、GGJによってスタートした「東北大学グローバルリーダー育成プログラム(TGL)」だ。単に学生を海外に送り出すだけでなく、グローバルリーダーにふさわしい力を身に付ける総合的なプログラムとして、海外研鑽を中心に語学・コミュニケーション力、



TGLプログラム

FGLプログラム

学の強みを活かして世界を牽引できる分野「スピントロニクス」「環境・地球科学」「宇宙創成物理学」「機械科学技術」「材料科学」及び今後重要となり人類の発展に貢献できる分野「データ科学」「生命科学(脳科学)」「災害科学・安全学」「日本学」で共同教育を実践。国際的な研究クラスターへと発展させるべく、研究力との両輪で進めている。

特徴的な取り組みが、留学生と国内学生が言語・文化を超えてともに学ぶ「国際共修」の推進だ。この授業では、ただ隣り合っただけではなく、グループワークやプロジェクト協働など意味ある交流を通して相互理解を深めながら、他者を理解し、己を見つめ直し、新しい価値観を創造することを目標とする。2013年度は11クラスだったが、2019年度には70クラスにまで拡大。こ

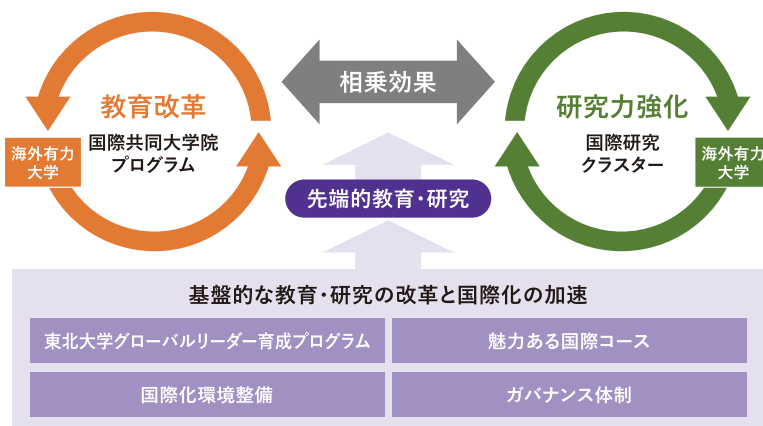
ロナ禍においてもオンラインで実施するなど、国際交流を生み出す重要な授業となっている。これらの取り組みをはじめ、国際化に向けて数々のアクションを実施したことにより、東北大学の国際性指標は数値的に大きく向上した。特に海外からの留学生数の伸びは大きく、2009年度時点では、2020年度に3000名の受け入れに達することを目標としていたものの、現在はそれを超えて受け入れが進んでおり、2019年度には3500名を上回った。東日本大震災後には大きく落ち込んだが、2015年度にはそれまでの増加ペースを取り戻し、以降堅調な伸びを見せている。単位取得を伴う派遣留学生数も2013年度から2019年度にかけて約4倍にまで増加しており、それに合わせてシラバスの英語化比率や英語コースの設置率、外国語による授業科目数も大きくアップしている。国際性指標の向上も高く評価され、「Times Higher Education (THE)」が本年発表したTHE世界大学ランキング日本版2020で1位に選出された。ただし、数値目標の達成や

ランキングはあくまでも通過点にすぎない。「創造と変革を先導する大学への変容」という質的な成果を目指し、東北大学はアクションを起こし続けていく。

ニューノーマル時代に
合わせた変化を

コロナ禍により国際的な移動が封じられた際にも、東北大学の動きは速かった。2020年4月には緊急学生支援パッケージを発表するとともに、新たな国際教育モデルを実践する「Be Global」プロジェクトを開始。

■ 東北大学スーパーグローバル大学構想の概要



国際性指標の向上

	2013年	2019年
外国語による授業科目	586科目	1,065科目
英語コース設置率	42.1%	66.2%
国際共修ゼミクラス数	11クラス	70クラス

が評価され、「Times Higher Education (THE)」が本年発表したTHE世界大学ランキング日本版2020で1位に選出された。ただし、数値目標の達成や

コロナ禍により国際的な移動が封じられた際にも、東北大学の動きは速かった。2020年4月には緊急学生支援パッケージを発表するとともに、新たな国際教育モデルを実践する「Be Global」プロジェクトを開始。オンライン海外短期研修プログラムの実施、オンライン国際共修プラットフォームの構築といった取り組みを次々と行った。プログラムの構成を工夫し、教員がしっかりとコミットしたこと、参加学生の満足度も非常に高いものとなっている。オンライン活用には、距離の制約を超えられるといったメリットもある。今後はアフターコロナ、ニューノーマルの時代を見据え、リアルとオンラインのベストミックスで、東北大学の新たな国際教育を展開していく。